



真龍小便り

【学校の教育目標】
 ☆心と体をきたえる子
 ☆美しい心をもつ子
 ☆考えて行動する子
 ☆生き生きと学ぶ子

No.11 令和6年12月23日発行

オポチュニティの轍（わだち）

校長 斉藤直彦

「キャリア」という言葉は聞いたことがあるかと思いますが、その語源を調べていくと「轍（わだち）」という日本語と結びつきます。轍とは、荷馬車や四輪の荷車の通った後にできる車輪の跡です。実際私たちがよく使うキャリアという言葉は、仕事での「実績」とか「経験」などの意味合いで、「キャリアを積む」などと使うときが多いと思います。

でも、「キャリア＝轍」ととらえると、何か、もっと深い意味がそこに存在しているようなそんな気がしてきます。（私だけかもしれませんが・・・）

最近「オポチュニティの轍」を題材にしたドラマを見ました。その感想の前に、「オポチュニティ」とはなんぞやという方もいらっしゃると思いますので、簡単に、本当に簡単に紹介します。

オポチュニティは NASA の火星探査車です。期待されていた調査期間は 3 か月で、それを全うしようと孤独な旅を続け、期待をはるかに超える 14 年間、地球に火星の写真を送り続けました。様々な写真がある中で、オポチュニティが自分の後ろを振り返って撮った 1 枚の写真があります。それが「オポチュニティの轍」です。

この説明じゃ、よくわからないよ！もっと知りたい！と思ってくださった方がいましたら、ネットで調べて、ぜひその写真を見てほしいと思います。

話をドラマの感想に戻します。

ドラマでは、登場する人物の「つらい経験とオポチュニティの轍が重なる」ように描かれています。その人物が、自分に自信がなく、誰からも理解されず、孤独に歩んできた自分と、火星探査を 1 台（一人）で続けてきたオポチュニティと重ねて考えるシーンがあります。

「今までつらいことばかりでいいことなんてこれっぽっちもなかったけど、自分の後ろにも轍はできている。その轍は、自分が懸命に生きてきた証（あかし）なのかもしれない。」

その人物は、このように感じ取りながらオポチュニティのように前に進んでいこうとしているのかなあ、などと考えさせられ、とても印象に残りました。

同じドラマを見ても感動する場面やそこから感じたメッセージは、人それぞれで違います。だから、人の話を聞くのは興味深いものです。もし、真龍小学校の子どもたちの中に、「校長先生とドラマの感想を話してみたい」と思ってくれる子がいてくれたら嬉しいだろうなあ、などという思いも抱かせてくれるドラマでしたので、今度、原作の本「宙わたる教室」を読んでみようと思っています。

日	曜	1月の主な行事
1	水	元日
2	木	学校閉庁日
3	金	学校閉庁日
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	
15	水	冬休み終了
16	木	後期第2ステージ開始 講話朝会
17	金	短縮日課 街頭指導 冬休み作品展（～23日）
18	土	
19	日	
20	月	生活リズムチェック週間 計算力テスト実施週間 街頭指導 スケート学習（6・3年） スクールカウンセラー来校日
21	火	短縮日課 交通安全指導日
22	水	スケート学習（5・1年）放課後学習 ノーゲームデー
23	木	短縮日課
24	金	短縮日課 スケート学習（4・2年）
25	土	
26	日	
27	月	スケート学習（3・6・1・5年）
28	火	短縮日課
29	水	スケート学習（5・2・4年）児童委員会
30	木	短縮日課 中休み読み聞かせ（3年） 新1年生1日入学・保護者説明会
31	金	短縮日課 スケート学習（1・2・6年）

「ながら見守り」のお願い

1月の帰宅時刻 16:00

この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。
 児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

✎ 学習の自己調整 ✎

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業により、一人一人の子どもが「自立した学習者」として、学び続けられるようになっているか、という課題が明らかになりました。そこで、これからの学校教育においては、『子どもがICTも活用しながら自ら学習を調整しながら学んでいくことができるよう、「個に応じた指導」を充実することが必要である。』とされています。

「個に応じた指導」を整理すると以下の2点になります。
子ども一人一人の特性や学習進度、学習到達度に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う…「指導の個別化」
教師が子ども一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子ども自身が学習が最適となるよう調整する…「学習の個性化」

今年度、本校では研究主題「児童が学び続ける授業の創造」を基盤に、釧路教育研究所の協力校として同研究所の研究主題「自己調整学習サイクルを意識した単元計画の改善」を手立てとした校内研修を推進しています。自己調整学習とは、子ども自身が「何を」「どのように」「どれくらい」学ぶのかを考え、自ら学習を進めていく力を育む学習方法です。これまでの「教えられたことを覚える」という学習から、「自ら考え、学び、そして成長する」という主体的な学びの構築を目指しています。

具体的な授業レベルでは、学習に関するあらゆる決定を「子ども一人一人に委ねる」ことになります。例えば、何で学ぶのか（紙？タブレット？）、誰と学ぶのか（友達と？一人で？）、どのくらいの時間をかけるのか（1時間？2時間？）といったことです。また、自らの学習を振り返る機会を設け、成長を実感したり、学び方を整理したりできるようにします。子どもが学習に関する決定をする機会や振り返る機会を設けることで、自らの学習を調整する力を高めることをねらいとしています。

「子どもに委ねるといって教師は何もしないのか？」という疑問がでるかと思えます。むしろその逆で、この授業スタイルでは、一人一人の子どもにきめ細やかな指導や支援をすることで大忙しとなります。ここが大きなメリットでもあります。デメリットとしては、授業準備の大変さや学級全体の学習状況の把握の困難さが取り上げられます。一方で、一斉指導型の授業スタイルには、多くの子どもにあう指導方法や授業進度を揃えて学習ができるというメリットがあります。ただ、その指導方法やペースが子ども一人一人にあっているとは限らないというデメリットがあります。

全ての子どもが毎時間、学力を高められる万能な授業方法で授業することは困難です。一斉指導型の授業スタイルをベースとしながらも、「個に応じた指導」の充実に向けて、今後も自己調整学習の取り組みを進めていきます。

お昼の真小タイム

12月より、毎週木曜日の掃除の時間（12:30～12:40）を取り止めて、お昼の真小タイムを試験的に実施しています。お昼の真小タイムは、子どもたちが自分の机で読書や自主学習、目の休憩など、一人で静かに過ごす時間です。実施の目的として、下記の3点が挙げられます。

1 当たり前を見直す（毎日、掃除をする必要はあるのか）
毎週木曜日は掃除がないことになりましたが、逆に意識してごみを拾ったり、校舎内の環境をきれいに保とうとしたりする意識が子どもたちの中で高まってくれるといいなと期待しています。

2 子どもの自主選択時間の確保
朝の真小タイムでは、作文問題や計算問題などの基礎学力の向上を目指して取り組んでいます。お昼の真小タイムは、自主学習や読書など、子ども達が柔軟に活動を選択できるように設定しています。また、疲れが溜まってくる週の後半に設定することで、目を閉じてリラックスする時間に充てることもできます。一人で静かに過ごす時間として、自分自身で行動を選択し、自己決定する力が身につきます。

3 学級事務仕事時間の確保
お昼の真小タイムの時間帯は、教員は各教室にいます。子どもたちが静かに机に座って過ごしているので、先生方は安心して宿題や家庭学習の点検や連絡帳への記入など、学級事務の仕事に取り組むことができます。

しばらく実施してみて、校舎の美化環境の状況や子どもたちの様子等を検証し、令和7年度以降の運用について検討します。

学校閉庁日のお知らせ

12月30日（月）から5日間、学校閉庁日となります。この学校閉庁は、働き方改革の一環として取り組まれているものです。

この期間中、学校は職員不在となりますので、電話等の対応はできなくなります。もし緊急で学校へ連絡が必要な場合は、厚岸町教育委員会まで連絡するようにしてください。

- ◎学校閉庁日期間
令和6年12月30日（月）～令和7年1月3日（金）
- ◎緊急連絡先：厚岸町教育委員会
電話：0153-52-3131

真龍おはなし隊・学校司書の【今月のおすすめ本】

『ゆうやけにとけていく』

作／ザ・キャビンカンパニー（小学館）
真龍おはなし隊：榎引 真由子

沈みゆく太陽を背景に、買物帰りに手を繋ぎながら楽しく会話をする親子、ジャングルジムでバンザイをする子、悔しさのあまり石を蹴飛ばす子、アルバムを見ながら思い出を語るおばあちゃんと孫など、いろいろな情景が描き出されています。

それぞれがその日感じた喜びや悲しみなどの様々な感情を夕焼けがとかし、やがて静かな夜空へと変化し、穏やかな気持ちで一日が終わり、明日へ向かう・・・といった様子が描かれています。

日頃、何気なく眺めていた夕焼け空をまた違った視点で見たり、感じるができる作品です。みなさんも、きれいな夕焼けを見て癒されたことがあると思いますが、知らず知らずのうちにその時の感情をとかしてもらっていたのかもしれないですね。

実は、キャビンカンパニーさんの絵は、木の板に描かれています。絵をよーく見てみると、うっすら木目が見えてきます。温かみのある、目でも楽しめる絵本となっています。

